

平成 19 年 10 月 2 日

各 位

会 社 名 暁 飯 島 工 業 株 式 会 社  
 代表者の役職 代表取締役社長 飯 島 康 輔  
 ( J A S D A Q ・ コード 1997 )  
 問 合 せ 先 取締役専務執行役員 藤 沼 一 男  
 役 職 ・ 氏 名 ( 管 理 統 括 部 長 )  
 電 話 番 号 0 2 9 ( 2 4 4 ) 5 1 1 1

### 特別損失の計上及び平成 19 年 8 月期業績予想の修正に関するお知らせ

特別損失の計上及び平成 19 年 7 月 2 日付「平成 19 年 8 月期業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしました、平成 19 年 8 月期（平成 18 年 9 月 1 日～平成 19 年 8 月 31 日）の業績予想を下記のとおり修正いたしますのでお知らせします。

#### 記

#### 1. 特別損失の計上及び内容

##### (1) 貸倒引当金繰入額

平成 19 年 3 月 6 日付「訴訟の提起に関するお知らせ」にてお知らせしましたとおり、当社請負の新築工事に関し、(株)しまナーシングホームは当社に対し、3 億 9,322 万 5 千円の損害賠償額を要求し、同社が当社に対して有している同額の債務不存在確認を求める訴訟を提起しており、現在公判中であります。

当社は、同社の主張には何等根拠がなく、裁判での当社の正当性を主張し争っていく方針に変わりはありませんが、平成 19 年 8 月期において、内規に基づき債権額の約 25%に当たる 1 億円を特別損失として計上する予定であります。

##### (2) 減損損失

「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、当社は平成 19 年 8 月期において千葉県浦安市にあります賃貸資産（建物及び土地）について減損損失 43 百万円が発生することとなりましたので、特別損失として計上する予定であります。

#### 2. 業績への影響

業績への影響につきましては、下記「平成 19 年 8 月期業績予想の修正」のとおりであります。

#### 3. 平成 19 年 8 月期業績予想の修正

##### (1) 連結業績予想の修正

通 期（平成 18 年 9 月 1 日～平成 19 年 8 月 31 日） （単位：百万円）

|                             | 売 上 高  | 経 常 利 益 | 当 期 純 利 益 |
|-----------------------------|--------|---------|-----------|
| 前 回 予 想 ( A )               | 8,300  | 350     | 400       |
| 今 回 予 想 ( B )               | 8,100  | 230     | 435       |
| 増 減 額 ( B - A )             | 200    | 120     | 35        |
| 増 減 率 ( % )                 | 2.4%   |         |           |
| (ご参考)<br>前期(平成 18 年 8 月期)実績 | 10,800 | 139     | 185       |

##### (2) 単独業績予想の修正

通 期（平成 18 年 9 月 1 日～平成 19 年 8 月 31 日） （単位：百万円）

|                             | 売 上 高  | 経 常 利 益 | 当 期 純 利 益 |
|-----------------------------|--------|---------|-----------|
| 前 回 予 想 ( A )               | 8,200  | 350     | 400       |
| 今 回 予 想 ( B )               | 8,100  | 225     | 430       |
| 増 減 額 ( B - A )             | 100    | 125     | 30        |
| 増 減 率 ( % )                 | 1.2%   |         |           |
| (ご参考)<br>前期(平成 18 年 8 月期)実績 | 10,778 | 129     | 182       |

(3) 修正の理由

連結業績

主に単独業績予想修正に伴う修正であります。

単独業績

売上高につきましては、前回予想を若干下回る見込みであります。

経常損益につきましては、前回予想より工事利益率が改善されたこと及び販管費の削減が図られたことから、前回予想を上回る見込みであります。

当期純損益につきましては、経常損益が改善されたにもかかわらず、上記特別損失の計上等の他、繰延税金資産の取崩しによる法人税等調整額を約 17 百万計上することにより前回予想を若干下回る見込みであります。

なお、繰延税金資産の取崩しにつきましては、最近の業績推移を考慮し、課税所得についてできる限り保守的に見直し、回収可能性について検討した結果取崩すことといたしました。

|  |
|--|
| 上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。 |
|--|

以上